

小学校にカウンセラー拡充

文部科学省の専門家会議は、公立中学校を中心に派遣されているスクールカウンセラーを小学校にも広めることや、小学校にも教育相談や児童指導のための主事を置くことを検討するべきだとする報告書をまとめた。小学校での暴力行為が増加傾向にあり、不登校やいじめが中学校で急増する原因の根も小学校にあることが多いと分析。対処するためとしている。(5日)

携帯電話、中学生6割が使用

内閣府の意識調査(3月)で、携帯電話を使っているのは小学生の31%、中学生の58%に上り、高校生では96%が使っていることがわかった。(7日)

障害児除き学力テスト集計

東京都足立区教育委員会が去年4月、区立の全小中学校で行った学力テストで、小学校1校が、障害のある3人の6年生の答案用紙を保護者の了解を得ずに集計から除いていたことがわかった。同区は学校選択制をとっており、成績上位校に入学希望者が殺到する傾向がある。(7日)

はしか予防接種、中1と高3に

はしかの大流行を受け、厚生労働省は来年度から5年間、中学1年と高校3年を対象に、定期予防接種を追加する考えを明らかにした。法改正の前で1度しかワクチンを接種していない小学2年生以上に、高校卒業までに2回目を受けてもらうねらい。(9日)

セブン-イレブン店舗数世界一に

コンビニエンスストア最大手のセブン-イレブン・ジャパンは、世界17か国・地域に展開するセブン-イレブンが3月末時点で店舗数で世界最大の小売り・外食チェーンになっていたと発表。6月末の店舗数は3万2711店。昨年までトップだったマクドナルドを抜いた。(11日)

国内最大級の恐竜化石発見

福井県立恐竜博物館は、北陸一帯に分布する白亜紀前期の地層「手取層群」上部の「北谷層」(約1億2000万年前)から恐竜の骨の化石1点が見つかったと発表した。大型草食恐竜の前脚の上腕骨の一部とみられる。1996年に三重県鳥羽市で発見された化石に次ぐ、国内最大級の可能性があるという。(11日)

看護師採用数が倍増

全国の国立大学病院の今春の看護師採用数が4723人で、前年に比べ倍増したことが厚生労働省の調べでわかった。看護師を手厚く配置すると診療報酬が加算されるようになったため。しかし国立大学病院以外では看護師不足が起き、病院間格差が広がっているとみられる。(12日)

太陽系外の惑星に水蒸気

地球から63光年離れた太陽系外の惑星に水蒸気が存在している決定的な証拠をとらえたと、欧州宇宙機関(ESA)や米国などの国際チームが、12日付の英科学誌ネイチャーの論文で発表した。水が存在すれば、生命の存在する可能性も高まる。(12日)

障害者雇用率、中小企業にも「罰金」

厚生労働省は、企業に義務付けている障害者の法定雇用率が未達成の企業に課される納付金の支払い義務を、これまで免除されていた従業員300人以下の中小企業にも拡大する方針を固めた。(13日)